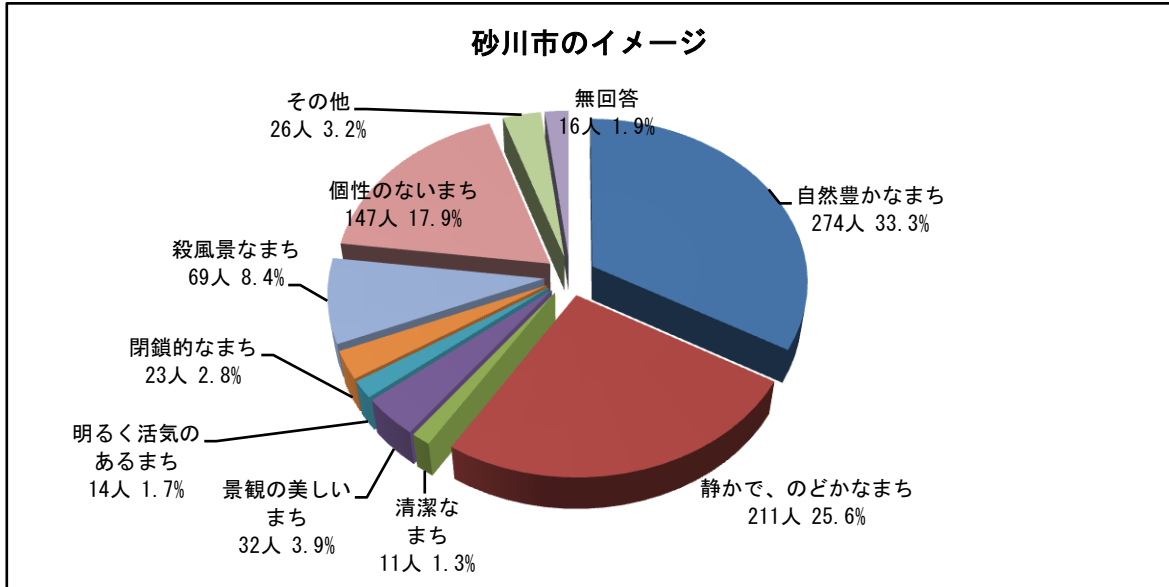
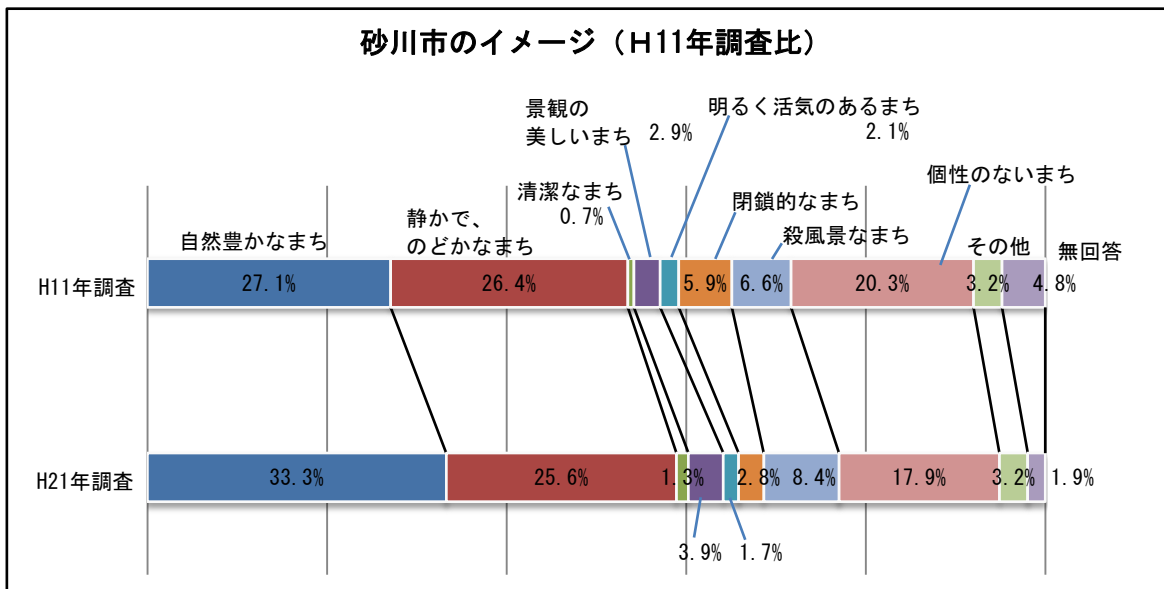


【問3】あなたは、砂川市にどのようなイメージ（印象）を持っていますか。
（1つ選択）

砂川市のイメージについては「自然豊かなまち」が33.3%と最も高く、「静かで、のどかなまち」(25.6%)、「個性のないまち」(17.9%)と続きます。



平成11年度調査と比較すると、「自然豊かなまち」というイメージが27.1%から33.3%に増え、「個性のないまち」は20.3%から17.9%に減り、「閉鎖的なまち」も5.9%から2.8%に減っています。各項目とも微増、微減ではありますが、全体的に良いイメージが伸びています。



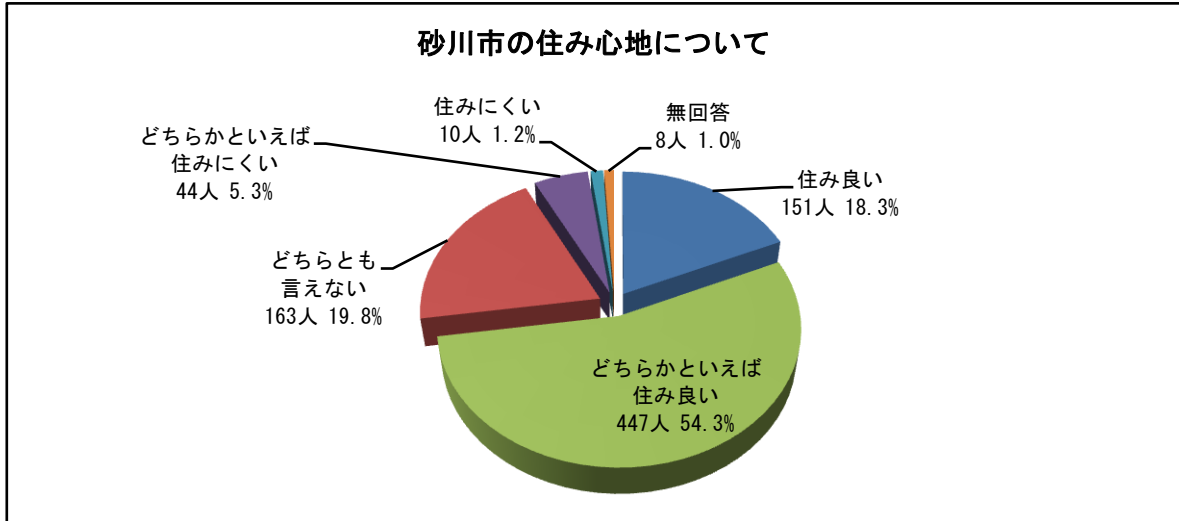
【「その他」の記述】

- ・公園。
- ・これからは医療体制の整ったまち。
- ・病院（医療）の充実しているまち。
- ・お菓子が美味しいまち。
- ・お菓子のまち。
- ・生活しやすいまち。
- ・交通の便が良いまち。
- ・過疎。
- ・田舎。
- ・保守的。
- ・ループ橋。日本一の笑われた市。
- ・ムダな建設物をよく作るまち。
- ・官庁関係、市役所等の建造物に古い建物を大切に使用しているところはとていいまち。
- ・商店街に活気が無く、空き店舗が多いイメージ。
- ・衣料品の店が無い。
- ・静か過ぎて活気が無い。
- ・暗いイメージ。
- ・自然が豊かで良いが、活気が少ない。
- ・おもしろみのないまち。
- ・閉鎖的で個性のないまち。
- ・砂川市の表現がない。
- ・中途半端。
- ・温泉がないまち。
- ・家賃が高いまち。

【問4】総合的に見て、現在の砂川市の住み心地はいかがですか。

(1つ選択)

砂川市の住み心地については、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合わせると72.6%となり、7割を超える市民が砂川をおおよそ住み良いと考えています。



年代別にみると、「住み良い」という回答が一番多いのが40歳代で、2割を超えています。「どちらかといえば住み良い」を加えても30歳代、40歳代が、他の世代よりも住み心地が良いと考えています。

また、30歳未満の「住み良い」という回答は全世代の中で唯一1割に達せず、逆に「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせると16.9%となるなど、他の年代との差が目立ちます。

